

大阪大学大学院医学系研究科 特任助教(常勤)または特任研究員(常勤)公募

概 要	大阪大学大学院医学系研究科 免疫細胞生物学（石井優 研究室）では、JST ERATO「石井生体内細胞環境プロジェクト」に参画いただける特任助教（常勤）または特任研究員（常勤）を募集します。 （研究室ウェブサイト） http://www.icb.med.osaka-u.ac.jp/index.html JST-ERATO「石井生体内細胞環境プロジェクト」（2025-2030）は、生体内での細胞の多様性や環境適応のメカニズムを解明することを目的とし、従来の生体イメージングでは解析が困難であった「細胞環境」に着目した研究を推進します。細胞がどのように多様性を獲得し、環境に適応するかの本質的な仕組みを明らかにすることで、生命のレジリエンスに関わる新たな知見の創出に挑みます。 （参考） https://www.jst.go.jp/pr/info/info1798/pdf/info1798.pdf 業務内容等に関するお問い合わせを歓迎します。
1. 職名	特任助教（常勤）または特任研究員（常勤） ※応募者の経歴等を考慮の上、従事していただく職務および職名を決定します。
2. 募集人数	若干名
3. 所属	大学院医学系研究科
4. 勤務場所	吹田キャンパス（大阪府吹田市山田丘 2-2） または 医薬基盤研究所（大阪府茨木市彩都あさぎ 7-6-8）
5. 専門分野	免疫学、神経科学、バイオイメーjing、タンパク質エンジニアリング、バイオインフォマティクス
6. 職務内容	【主な業務】 以下3グループのいずれかに所属し、他グループと協力しながらプロジェクトを遂行する。特任助教（常勤）の場合、学生の指導を含む教育業務にも従事いただきます。 1. 免疫動態研究グループ（グループリーダー：宮本 佑） 生体イメージングを用いた細胞動態・細胞機能の可視化、フローサイトメトリーを用いた細胞の単離、シークエンサーを用いた網羅的遺伝子発現解析、固定組織切片を用いた多重免疫染色を基本技術として扱い、さまざまな臓器や病態で生じる未知の現象の探索とその原理究明を行います。また、常在微生物や神経系が各臓器の組織環境および免疫システムに与える影響の解明にも取り組みます。 （参考文献） Miyamoto, et al., Nature, 2024: doi.org/10.1038/s41586-024-07372-6 2. 細胞環境イメージング研究グループ（グループリーダー：稲生 大輔） タンパク質エンジニアリングを駆使し、様々な細胞外生理活性分子動態の可視化蛍光プローブや光操作ツールを開発します。開発したプローブを種々の臓器・組織における生体イメージングに応用し、まだ見ぬ細胞環境動態の解明を目指します。 （参考） Ino et al., Nat Methods, 2022: doi.org/10.1038/s41592-022-01597-x

	3. 網羅的細胞環境探索グループ（グループリーダー：一瀬 大志） 3次元空間プロテオームや空間トランスクリプトーム、3次元画像解析、神経免疫学的実験手技などを駆使し、細胞機能を制御する組織環境因子の網羅的探索を行っていただきます。
7. 応募資格	[必須条件] 1. 博士号学位を有する、もしくは取得見込みの方 2. 上記専門分野における十分な研究実績があること 3. 業務遂行に支障のないレベルの日本語の能力があること [望ましい条件] 下記のいずれかの経験がある方、もしくは挑戦してみたい方を歓迎します。 (免疫動態研究グループ) ・免疫学、神経科学のいずれかの基本的な知識および実験技術 ・蛍光顕微鏡を用いたイメージングに関する基礎的な知識・技術 ・分子生物学的な実験技術（DNA・RNA を取り扱える） ・トランスクリプトミクス、メタボロミクス、リポドミクスに関する知識・技術 ・オミクスデータのインフォマティクス解析に関する知識・技術 ・遺伝子導入・遺伝子改変に関する知識・技術（アデノ随伴ウイルスを用いた遺伝子導入など） (細胞環境イメージング研究グループ) ・蛍光タンパク質、光感受性タンパク質の改変や応用 ・計算機によるタンパク質デザイン ・タンパク質の構造解析 ・細胞、組織、または個体での蛍光ライブイメージング (網羅的細胞環境探索グループ) ・空間オミクス解析 ・機械学習を用いた画像解析 ・神経免疫学
8. 採用日	2026 年 4 月 1 日(以降できるだけ早い日)
9. 契約期間	採用日から 2027 年 3 月 31 日まで ※ 雇用契約期間満了後、業務の継続状況および勤務評価などの審査により、プロジェクトの存続を条件に 2031 年 3 月を上限として更新の可能性あり。 (ただし、「73. 国立大学法人大阪大学有期雇用教職員等の契約期間に関する規程」に基づき、通算契約期間は当初採用日から最長 10 年を期限とする)
10. 試用期間	6 か月
11. 勤務形態	「38. 国立大学法人大阪大学任期付教職員の労働時間、休日及び休暇等に関する規程」による https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/information/joho/kitei_shugyou.html 同意に基づき、専門業務型裁量労働制適用(みなし労働時間:1 日 8 時間) 休日:土曜日、日曜日、祝日、夏季一斉休業 3 日間、12 月 29 日～1 月 3 日等、(年間休日約 120 日) 年次有給休暇(4 月 1 日採用の場合は初年度 10 日付与)、慶弔などの特別有給休暇等

	産前・産後休暇、育児休業及び介護休業は、条件を満たせば取得可能。上記規程をご確認ください。
12. 給与及び手当	「48. 国立大学法人大阪大学任期付年俸制教職員(特任等教職員)給与規程」による https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/information/joho/kitei_shugyou.html 下に記載の年俸額の、12 分の 1 の額を月額基本給として、毎月支給します。 5,003,400 円～5,916,000 円 (※ 応募者の経歴や従事いただく職務等を考慮して、職位や年俸額を決定します。) 年俸額は評価に基づき変更する可能性あり。 通勤手当 月額上限 55,000 円 (※ 住居手当、扶養手当、退職手当及び賞与は支給しない)
13. 社会保険等	国家公務員共済組合、雇用保険、労働者災害補償保険に加入 人間ドック補助(本人が 35 歳以上の場合)、共済積立貯金、ほか制度あり。
14. 応募書類	応募書類は英語または日本語で記述のこと 1. 履歴書 ※ 以下のサイトより、「各種様式ダウンロード」の項から「教育研究系職用」の応募用履歴書をダウンロードしてお使いいただくか、 https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/employment/links 同等の内容が記載された書類を提出ください。 2. 研究業績 (原著論文、解説・総説、著書、特許、国内外の学会発表) 3. 主要原著論文の別刷 (3 編以内) 4. これまでの研究の概要と今後の抱負 (A4 用紙 2 ページ程度) ※ 希望の所属グループを記載ください。 5. 推薦状 (1 通)、もしくは照会可能な方 2 名の氏名・所属・連絡先 ※ なお、応募書類による個人情報、採用者の選考及び採用後の人事等の手続きを行う目的で利用するものであり、第三者に開示いたしません。 ※ 応募書類については返却いたしません。

15. 送付先及び問合せ先	応募書類を添付の上、下記の E-Mail アドレスまで送付ください。 <担当者> 大阪大学大学院医学系研究科 免疫細胞生物学 興地 史江 電話番号: 06-6879-3881 E-Mail: office@icb.med.osaka-u.ac.jp ※ 件名を「ERATO 研究員 (生体内細胞環境プロジェクト) 応募」とすること ※ 添付ファイルにはセキュリティ対策を十分に施したうえで添付ファイルを送付すること 【問い合わせ先】 免疫動態研究グループ 宮本 佑 E-mail: ymiyamoto@icb.med.osaka-u.ac.jp 細胞環境イメージング研究グループ 稲生 大輔 E-mail: dino@pharma2.med.osaka-u.ac.jp 網羅的細胞環境探索グループ 一瀬 大志 E-mail: hichise@icb.med.osaka-u.ac.jp
16. 応募期限	2026 年 1 月 30 日 (金) ただし、候補者が決定し次第、締め切ります。
17. 選考方法	書類審査を行ったのち、面接審査を行います。応募書類受領から 3 週間以内に、選考通過者にのみ 2 次選考の案内を通知します。 ※ 面接のための旅費及び宿泊費等は応募者の負担とします。海外在住の方には、オンラインでの面接が可能です。 ※ 書類審査不合格の連絡はいたしませんので、ご了承ください。
18. その他	1. 上記の他の労働条件については国立大学法人大阪大学任期付教職員就業規則等によります。https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/information/joho/kitei_shugyou.html 2. 以上の労働条件等については、本採用情報掲載時点のものであり、変更の可能性があります。 3. 採用後、所属、勤務場所及び職務内容については、原則、変更することがありません。 4. 安全保障輸出管理に係る「みなし輸出」については国立大学法人大阪大学安全保障輸出管理規程等によります。 https://www.osaka-u.ac.jp/kitei/reiki_honbun/u035RG00000780.html 5. 大阪大学は、どのようなライフステージにあっても、教職員・学生がその能力を発揮できる、教育研究環境や職場環境の実現を目指しています。学内保育園や一時預かり保育室といった育児支援、仕事と介護の両立支援制度等は、以下のリンク先で確認いただけます。 https://www.di.osaka-u.ac.jp/guide-book/ ※ 敷地内原則禁煙、自家用車通勤可
19. 募集者	国立大学法人大阪大学